

2018年5月31日

2016年度 COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	特定非営利活動法人 焔の会 (かがやきのかい)	
代表者名	理事長 竹樋 秀康 (たけひ ひでやす)	
住所	〒983-0038 仙台市宮城野区新田1丁目5-44	
電話番号	022-781-5272	FAX 022-781-5472
連絡担当者名		

1. 助成事業報告

助成を受けた事業名	さをり織りを用いた職業訓練の品質向上
事業の目的	障害者福祉(就労継続支援)事業所の商品制作工程において、利用者(障害者)にとって困難な刃物使用の作業や精密な作業を機器の導入によって安全かつ容易な作業に改良することで、利用者へ提供できる仕事の種類を増やし、職業訓練の質と量を高める。
事業の具体的内容	高性能ミシンとレーザーカッターを導入し、それらを用いた商品制作工程を開発する。
活動の開始から完了までの流れ	ミシン導入について 2017年4月 皮革素材の縫製が可能なミシンを導入 2017年5月～7月 皮革縫製作業を利用者に提供する方法を検討 2017年8月 皮革縫製作業の訓練開始(開発試作) 2017年9月 皮革縫製作業が提供メニューとして確立(量産)

	<p>レーザーカッター導入について 2017年6月～12月 レーザーカッター動作環境の検討 2018年3月～ レーザーカッターの導入 レーザーカッター動作環境の整備</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>ミシン導入について <成果> 皮革素材の縫製が必要な商品を企画したが、手縫い作業は腕力が必要で、作業を担える利用者が非常に限定的だった。皮革素材の縫製に最適なミシンを導入し、利用者へ提供する訓練メニューを開発。新たな作業に技術向上に励むようになり、事業所全体の就労意欲を高めることができた。</p> <p><教訓> 皮革のようなデリケートな素材を取り扱う場合は、十分な予算を確保して専門の装置（今回はミシン）を導入するか、取扱店と十分に議論して予算を考慮した最適な装置に決める必要がある。</p> <p>レーザーカッター導入について <成果> 先端機器の導入による環境の検討に時間がかかってしまい、実質的な作業開発には至らなかった。しかし動作環境の検討を通して、支援員の技術力が一気に高まった。</p> <p><教訓> 新規設備導入時は、専門技術が高い方をアドバイザーとして関わって頂き、調達前の周辺環境の技術的要件洗い出し、また動作環境の構築を共に検討する必要がある。（内部の人間だけでは限界がある）</p>

今後の展望など	<p>ミシン導入について 当初計画していたミシンとは異なるが、期せずして機能が豊富なミシンを導入できたため、ミシンの昨日を最大限に活かした商品開発と作業メニュー開発が期待できる。</p> <p>レーザーカッター導入について 木材カット、擦りガラスづくり、皮革の焼印など、多様な作業開発が可能な装置なので、今後、高い技術を手に入れた支援員が、付加価値の高い作業を開発してくれると期待している。</p>
---------	---

2. 助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
自己資金	45,108	
合計	345,108	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額 (円)
レーザーカッター	レーザーカッター本体	91,584	91,584
	送料	0	556
	専用安全カバー	26,784	26,784
	専用加工ベッド	5,378	0
	専用排気ファンキット	12,744	12,744
	専用拡張フレームキット	38,644	0
	組込オプション	0	10,584
	送料	0	3,056
工業用ミシン	蛇の目ミシン	157,000	199,800
合計		332,134	345,108

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー
- (3) 成果物 (活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など)